

(様式2)

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

(愛媛県立三崎高等学校)

学校番号 (37)

評 価 実 施 日		令和 8 年 2 月 20 日 (金)	
委員	氏 名	所 属 等	備 考
	黒川 信義	学校評議員	
	阿達 雅子	学校評議員	
	中田 政木	学校評議員	
	竹上 正也	学校評議員	
	山崎 進	学校評議員	
	大谷 智彦	学校関係者評価委員/三崎駐在所長	
	浅野 長武	学校関係者評価委員/三崎中学校長	
	野村 雅英	学校関係者評価委員/三崎小学校長	
	松澤 祐耶	学校関係者評価委員/三崎高校PTA会長	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
1 教育活動について (1) 地域協働の取組について ・文化祭や駅伝への協力や盛り上げてもらってありがたい。また、公民館として何か協力できることがあったらぜひ協力させていただきたい。 ・地域と一体となり、特にお祭りの参加で生徒たちがいろんなところに行って活動をしていることが、地域の方々に認められている。三崎高校の取組が地域に浸透していると感じる。 ・三崎高校の郷土芸能活動に対して、地元住民から喜びの声を聞く。 ・地域と共にある学校、特色を生かした魅力ある学校づくりを目指す中学校としても、三崎高校の取組、地域との連携体制、地域貢献の在り方などは非常に参考となっている。また、児童生徒にとっても大変良い刺激となっているとも感じる。新たなチャレンジ、活動内容のアップデートが着実になされており、その成果は垣間見る三崎高生の姿に確実に表れていると思われる。 (2) 生徒募集について ・来年度、62人の志願者(2/20時点)ということで、今までの取り組みが県内外に認められているということが数字として表れていると思う。 ・三崎高校の先生方の思いや取組が成果となって表れており、地域の中学校としても、ありがたい、誇らしく思う。 ・県内外に、三崎高校の魅力を上手に発信できていると思う。	・地域とのつながりを大切にした取組の一環として、地域の秋祭りに踊り子・ボランティアスタッフとして積極的に参加している。地域の方々が長年守り続けてきたこの祭りは、子どもから高齢の方まで幅広い世代が集まる、三崎地区にとって欠かすことのできない伝統行事である。当日は、三崎高校郷土芸能部(みさこう郷土芸能)の五つ鹿グループの5人が2日間の宵祭りに参加し、地域を盛り上げた。さらに、10名のボランティアスタッフも参加し、普段お世話になっている地域の方々への恩返し of 思いも込めて、祭りをサポートした。秋祭りへの参加を通して、高校生は地域の一員として迎え入れてもらっている温かさを改めて実感した。地域の方々と協力しながら伝統行事を盛り上げることで、日頃の感謝を形にすることができ、新しい郷土愛の形を創出することができている。 ・今年度は、近隣中学校への説明会のみならず、松山市内を中心に中予地区の中学校をすべて訪問し、中学校の教員に対して学校紹介を行った。また、地域みらい留学における2度の説明会・懇談会(東京)に加え、県教育委員会主催の進学フェアに3回(東・中・南予1回ずつ)、魅力化推進校10校で協力して1回(松山)行うなど、精力的に生徒募集を行った。

(3) 「社会共創科」について

・「普通科」から「社会共創科」に変わって、具体的にどういう変化があったかについて教えていただきたい。

・社会共創科になって、大学進学において総合型選抜入試を受験する際のメリットはあるか。学校としてどのように捉えているのか。

・2年生では3つのコース「地域探究」「人文探究」「科学探究」に分かれるが、どのコースからでも進学・就職ができるというコンセプトで、生徒たちの多岐にわたる進路選択に対応できるようなカリキュラムを学校全体で組んでいる。今後も様々な形で新学科の魅力を発信していきたい。
・ゼミ活動も活発で、総合型・推薦型にかなり対応できるような体制になっている。

2 学校評価及び学校運営の改善方策について

(1) 学校評価アンケートについて

・総じて高い評価をいただいているように感じる。
・保護者から厳しい意見があった。誤解なども多いかと思うが丁寧な対応をお願いしたい。
・学校図書館の充実について、普段はどのように活用しているのか。図書館は本を借りるだけで、生徒たちが勉強する場としてあまり使われていないか。

・どの項目も、ここ3か年で概ね数値の改善が見られた。保護者アンケートには、改善を要する事項が散見され、次年度に向け方策を考えている。

・放課後は公営塾の教室でもあり、自習で使っている生徒もいる。この度、図書館も改修予定で、自習にも探究活動にも使える「STEAM教室」になる予定である。

(2) 自己評価表について

・高校は勤務体制を工夫されていて、職場環境が良くなっていることがわかり、素晴らしいと思った。
・小中学校との関わりを増やしていただけるとよいと思う。お互い無理のかからない範囲で。

・早出や遅出の勤務体系を設定したことで、教職員は積極的に活用しながら、各々が働き方改革に努めている。

・防災教育においては、合同での避難訓練や、高校生が授業に出向いてアドバイスをを行っている。次年度よりゼミ活動においても中学生と協働する予定である。

3 会の感想、その他

・「恩返しプロジェクト」が本当にありがたかった。高校生も挨拶や機敏に動いてくれ、とても好印象だった。たくましく感じる。

・学校全体で、意識統一や現状認識の共有が図れており、開かれた学校になっていると感じる。様々な生徒への対応が、他校に比べて多いと思うが、今後も学校や地域のためにご尽力を賜ればありがたい。

・先生方の勢いや熱意がとても感じられ、素晴らしい学校になったなと感じた。

・三崎高校の存在、三崎高生の活躍・活動が、この地域の活力、大きな力となっていることを様々な場面で感じている。先生方のご尽力に感謝する。

・進路の決まった3年生が地域に恩返しをするという、今年度からの取組で、地域住民から大変好評であった。

・職員室の雰囲気が良好で、小規模校ならではの一体感が功を奏している。また、多様な生徒や保護者の対応を丁寧に行うことで、時間はかかるが生徒の成長につながっていると感じる。今後も丁寧に対応したい。

・同窓会をはじめ地域住民からの温かい支援のおかげで本校の教育活動は成り立っている。私たち教職員は、本校を選んで来てくれた生徒たちのため、自分たちに何ができるかを常に考え、伊方町との協力のもと、今後も教育活動に励んでいく。